

めざせ世界遺産登録 あなたも参加団体で活動しませんか？

手づくりの甲冑で「武家の古都・鎌倉」を発信

武者姿で集うとんぼの会

平成 19 年、「手づくりの甲冑で、鎌倉まつりに武者行列をしたい」と小田原の北条手づくり甲冑教室で学び、平成 20 年から鎌倉市内で甲冑教室を開いて今年で4回目、現在の会員は29名です。モットーは「作る楽しみ、着る嬉しさ、参加して満足」とし、鎌倉まつりや義経まつりなど市内のイベントに参加しています。

小田原の北条五代まつりにも参加し、世界遺産登録の幟旗を携行しパンフレットの配布を行っています。今年は小田原市役所での甲冑展のほか、横浜の赤レンガ倉庫や東京ビッグサイトへも甲冑の出展を行いました。

会員は大学講師、議員、企業経営者、外国人、主婦、定年退職者と多彩ですが、甲冑談義を通じて、異業種の世界に触れ楽しい会話を楽しんでいます。また、手先の作業が多くボケ防止にも良いと言われています。さらに会員を募り、この市民活動を通じて、世界遺産登録に向けて「武家の古都・鎌倉」を発信したいと思います。お問合せは山本彬正さん ☎ 0467-24-0526 まで。



平成22年4月の鎌倉まつりにて。

海外のお客様にも世界遺産登録をアピール

JR 東日本横浜支社



JR 鎌倉駅前の横断幕。

鎌倉観光の足といえば JR 東日本。横浜支社は横須賀線をはじめとした神奈川県内の JR 線を管轄しており、横浜や湘南地域で親しまれています。地元の観光価値を高める

ために「駅からハイキング」の開催や各種宣伝物の制作・配布等、様々な観光施策にも取り組んでいます。

今年6月に開通123年を迎える横須賀線や、北関東と鎌倉を直結する湘南新宿ライン沿線で、これまでも鎌倉の魅力をPRしてきましたが、世界遺産登録を控え、「今後は海外からのお客様への宣伝を展開するとともに、お出かけいただきやすい体制を整備していきます」とのこと。

すでに鎌倉観光に便利でお得な『鎌倉・江ノ島パス』の英語表記の切符を発売しており、今後は駅の案内表示等も拡充していく予定です。

「日本の武家文化の発祥地である、古都・鎌倉の世界遺産登録に向け、当社も地元の皆様とともに取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご支援のほどをよろしくお願いいたします」と語ってくれました。

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第21回 覚園寺はどんなお寺？

覚園寺は、鎌倉幕府第二代執権北条義時が建保六年（一二二八）に建てた大倉薬師堂（薬師如来像を安置する堂）に始まり、永仁四年（一二九六）には、第九代執権北条貞時が寺院として整備しました。

開山（初代住職）には、京都・泉涌寺より智海心慧律師が迎えられました。当初は、浄土宗・華嚴宗・真言宗・律宗・天台宗・禅宗などを総合的に学んで修行する、いわゆる「諸宗兼学」の寺院でしたが、明治時代に入ってから泉涌寺派の真言宗寺院となりました。

境内地は、鶴岡八幡宮から東約一・二 km のところにあり、薬師堂ヶ谷と呼ばれる谷戸を造成したものです。南北に堂舎が並び、谷奥には、鎌倉時代末期に造られた開山塔、大燈塔の二基の宝篋印塔（供養塔の一種）があります。また、境内を取り巻く緑豊かな山腹には、「百八やぐら」と呼ばれる中世のやぐら群（横穴の墳墓）が残されています。

覚園寺は、中世鎌倉における仏教文化の発展を示す寺院のひとつであると同時に、境内全体が山稜部の裾を切り落として谷を広げた状況をよくとどめ、鎌倉の寺院の中でも、最も奥深く静寂な宗教空間の特徴を今に伝えているという点で重要です。